

騒音コンター 見直し中止!

厚木爆同

【発行】
 厚木基地爆音防止期成同盟
 発行責任者 石郷岡 忠男
 事務所 大和市桜森3-5-3
 フォント1F
 TEL 046-240-7450
 FAX 046-261-5615
 bakudou@kanagawa.email.ne.jp

第五次厚木基地爆音訴訟 結審に向けて

厚木爆同が力を入れて支援している第五次厚木基地爆音訴訟の結審が、11月1日に行われます。

ここで爆音訴訟を振り返り、その目的と課題、前進面を明らかにして、勝利のための力にしたいと思います。

第四次訴訟では横浜地裁、東京高裁では自衛隊機の夜間飛行差し止め判決を勝ち取ったのですが、最高裁では棄却されました。将来分の損害賠償も棄却。米軍機の飛行差し止めは、第一次訴訟から引き続き「米軍のやることについて、裁判は行わない」という第三者行為論で、却下され続けていま

原水禁広島大会に参加して

厚木爆同委員長 石郷岡 忠男

8月4、5、6の三日間、原水禁世界大会に参加してきました。神奈川代表団は親子代表団も含めて88名。私は代表団の団長に任命されました。

第一日目(4日)、全体では千人を上回る人たちが会場を埋め尽くしました。

大会委員長はじめ数人の人がそれぞれ挨拶を行い、外国からの参加者からも発言がありました。

開会挨拶を行った大会副実行委員長秋葉さん(元広島市長)の発言には、まったく同感でした。

5月に行われたG7広島サミットでの、岸田総理の発言内容につ

これを不服として2017年8月に第五次爆音訴訟として第一次提訴を開始。第三次提訴では8879名という過去最大の原告数になりました。

最高裁では棄却の理由として「自衛隊機の運航は高度の公共性、公益性がある」としています。だからと言って、住民の生活や健康を阻害する「爆音を我慢しろ」というのは、住民の人権を無視するものです。人権優先の判決があつてしかるべきです。

第三者行為論の背景には、米軍や米軍関係者に対して占領軍的特権を

与えている日米地位協定の問題があります。ドイツやイタリアなどは駐留する米軍や米軍関係者に対して、国内法を適用できるようにしています。日本政府もこれにならって、在日米軍と米軍関係者に対して、国内法が適用できるようにすべきです。

第五次訴訟の弁護団は、この点も重視して取り組んでいます。厚木爆同もこの点を重視して、2017年から毎年、第五次訴訟原告団などと共同で、渉外知事会の会長でもある黒岩祐治

と新しい訓練が始まり、特に日米合同訓練に参加するオスプレイの中継基地として厚木基地が正式に使われるようになり、危険が増えていることなどを説明しました。

二日目(5日)はいろいろなテーマで分科会(6か所)があり、私は第2分科会の「平和と核廃絶II」日本の軍備拡大、改憲についてに参加しました。厚木基地に関するところを、私が報告しました。艦載機が移転になった後も次々



米軍戦闘機は今も飛来している点を重視して、2017年から毎年、第五次訴訟原告団などと共同で、渉外知事会の会長でもある黒岩祐治



原水禁大会第2分科会の様子

に「日米地位協定の抜本改定を求める要請」を行っています。防衛省は騒音コンターを見直すために昨年度から2年間、騒音調査を始めています。厚木爆同では「時期尚早」として反対し、原告団などと協力して約2万8千筆の反対署名を集め、防衛省に提出しました。

騒音評価のやり方につきました。第五次爆音訴訟の口頭弁論で田村明弘横浜国立大学名誉教授が、欧米では主流となっている「ハリーアノイド」というやり方を紹介して、日本もそういうやり方をすべきだ、と訴えました。

田村さんの指摘は、住民にとつて軍用機は他の騒音に比べて10デ

基地視察ツアーに参加を

厚木爆同では10月18日(水)、恒例の基地めぐりのバスツアーを開催します。

コースは、大和駅前を出発して横浜大橋から横浜ノースドックを臨み、監視をされている方に最近の状況などを聞きます。

その後、明治大学登戸キャンパス

シベル大きく聞こえるので、軍用機の騒音規制は他の騒音に比べて厳しく規制すべき、というものです。

厚木爆同でもこの見解を広めるように、務めています。

県と在日米軍基地に関係する県内8市でつくる県基地関係県市連絡協議会(会長・黒岩祐治知事)は毎年、国に対して要望書を出していますが、今年も重点要望として・厚木基地の航空機騒音解消・基地の整理・縮小・早期返還・日米地位協定の見直しなどを掲げています。

世論を高め、自治体も巻き込んで、第五次爆音訴訟勝利のために頑張りましょう!

内にある陸軍登戸研究所資料館で、詳しい説明を受けま。

大橋橋では買物時間、明治大学では学食で昼食、農学部が有機農業で作っている農産物の買物があります。

詳細は、折り込んだチラシをご覧ください。ぜひ、ご参加ください。

NHK受信料について 学習会に参加を

日時 11月26日(日) 午後4時
 会場 大和市渋谷学習センター
 講師 福田 護 弁護士
 内容 「NHK受信料について」
 参加 60名規模
 集約 事前申込制です。各支部長が集約して、事務所に報告してください。

詳細は 折り込んだチラシをご覧ください。是非ご参加ください。



多くの会員が参加した昨年の学習会



またも

自衛隊機が部品落下



P-3C型哨戒機

7月13日、海上自衛隊厚木航空基地所属のP-3C型哨戒機の部品落下事故が発生しました。厚木航空基地から大島、三宅島を往復している間に落下したようですが、どこで落下したかは不明です。落下した部品は重さ約0.1gのアルミニウム合金製リベットの頭部ですが、見つかっておらず、落下の原因も不明です。自衛隊機の部品落下は昨年1件、1件昨年2件と相次いでいます。いずれも飛行中に落下したもので、どこで落下したかは不明。住民の不安解消のために、徹底した落下防止策を求めます。

日米地位協定の

抜本改定を求める知事要請に参加

7月28日、厚木爆同は第五次爆音訴訟原告団、原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会、自主・平和・民主のための広範な国民連合・神奈川の4団体と賛同する市民などと共に、日米

県市協議会が爆音解消を要望

大和市と綾瀬市、両市の基地協も

在日米軍基地に係る県と県内8市でつくる県基地関係市連絡協議会(会長・黒岩祐治知事)は8月7日、①米軍基地の整理・縮小・早期返還②航空機の騒音解消③日米地位協定の見直しなどを求めて、政府に要望しました。「環境に影響を及ぼす事故が現に発生した場合の迅速な情報提供、円滑な立入り、調査結果の早急な公表、返還前の早期の立入りの実現など、実効性の

聞と聞と聞

(厚木爆同会員の声)

厚木爆同支部のうち、都県境によってポツンと切り離されているのが町田支部です。7年前に町田に転居した際に立川の友人から「神奈川でしょ」と言われてびっくり。三多摩の東京移管の理由は、130年前に首都の水源地保のため、あるいは自由民権運動の盛んだった三多摩を東京府に移すことで勢力衰退を狙ったとか。いずれにせよ「お上の思惑で引かれた「線」を踏みだいて、小さい支部ではありませんが、今後ともよろしく願います。かくいう私ですが、ずいぶん昔に組合の仲間とつながり、都県境によって業務所を真屋求さんのお話を聞き、厚木基地を案内していただいた時には、爆音や訴訟団に加えていただこうになるとは思いもしませんでした。転居後も、家から「防音工事」を強要されて住居がコンタナー内であることを知り、町田支部の月一回の地域ピラまきや地域集会に参加して、町田での戦闘機墜落事故を知ったほどで、まさに「駆け出しの同盟員」です。私は、今年から「後期高齢者」に分類されましたが、私には身近に「遅咲き」の見本がいます。今は亡き私の母が、私に同行して沖繩辺野古の浜に初めて立ったのは85歳の時で、その後94歳でなくなる前年まで、最後は車椅子で通いました。とても及びませんが、母の反戦の思いだけは引き継ぎたいと思っています。境川を隔てて相模補給廠に隣接する小山地域は、以前から市内で最も騒音被害が大きいにもかかわらず放置されてきました。小山への各戸ピラ入れや地域集会を再開し、なんとか支部の仲間を増やしていきたいと願っているところです。(町田支部 片岡万里子)

班長会議開催

座間支部



座間支部の班長会議

8月8日(火)午前10からひばりが丘陵自治会館で、本部より荻窪書記長の参加を得て、座間支部の班長会議を開催しました。座間支部は6班58世帯の会員です。高久支部長のあいさつの後に、各班長の自己紹介をしてもらい、年4回の会報の配布状況や会費徴収についての実情を話し合いました。

会報の配布は各班とも手配りをしており、会費の徴収は手集金や振り込みなど班ごとに異なる状況です。誰が班長になっても続けられるような爆音を目指すために、会報は郵送などで対応でき

第五次訴訟勝利！ 安保3文書撤回！ 防衛予算増に反対する 神奈川集会実施



相模大塚駅までデモ行進

8月26日、大和公園で厚木爆同、第五次厚木基地爆音訴訟原告団など4団体主催で「第五次厚木基地爆音訴訟勝利！安保3文書撤回！防衛予算増に反対する8・26神奈川集会」を実施。集会后、相模大塚駅前までデモ行進を行いました。

横浜ノースドックの強化反対署名にご協力をお願いします

横浜市の中心部にある米軍基地「横浜ノースドック」が、大きく変えられようとしています。本年1月11日、日米安全保障協議会は、横浜ノースドックに揚陸艇部隊約280名を配備することとで合意し、4月16日に幹部5名程度が配置されて同部隊全体が配置される予定です。これに反対して、ノースドックの撤去を求める署名をしています。協力を頂ける方は、事務所へ連絡下さい。



民間の運搬船も寄港

